

かぐらおか

(題字は初代学長 山田守英氏)

第 64 号

平成2年5月15日

編集 旭川医科大学
厚生補導委員会
発行 旭川医科大学教務部学生課



(写真撮影 動物実験施設 稲場 茂)

丘の家

第18回入学式辞……………学 長… 2	研究室紹介……………外科学第二講座… 9
新入生記念写真…………… 3	平成2年度の主な行事……………10
平成2年度入学者名簿…………… 4	第12回卒業証書授与式……………10
不亦楽乎……………内田悌喜… 5	学位記授与式……………10
新入生の皆さんへ……………村野恭子… 6	平成2年度入学式……………11
新入生歓迎実行委員会にはまる……………横浜洋也… 6	平成2年度新入生研修(第1回目)……………11
こころの健康と管理……………酒木 保… 7	スポーツ安全協会傷害保険の加入について……………11
国家試験と交通事故……………安孫子保… 8	学生の定期健康診断の実施について……………11
平成2年度大学院入学者名簿…………… 8	課外活動短信……………12
平成2年度運営組織…………… 8	窓 外……………白戸 勝…12
研究室紹介……………生化学第二講座… 9	



第18回入学式式辞

学長 下田 晶久

皆さん入学おめでとう！

大勢の志願者の中から2段階の選抜を経て合格を勝ち得た新入生諸君の喜びは察するに余りありますが、これを是非とも今から始まる新しい生活への挑戦に活かして欲しいと思います。諸君は12年間の初等・中等教育を終えて、今や最高学府の学生と成ったのでありますが、申すまでもなく大学は諸君の自主性を尊重し、生活面では社会の秩序に対する責任ある行動を、そして学習面では積極的に自ら学び取る態度を期待して居ります。

医学部の入学試験に小論文や面接が取り入れられてからは、それ以前に比べて受験生の医学への関心が高まり、これを学ぶ心構えも既に準備されているかのように見受けられますが、学習内容については、やはり漠然とした期待と不安の入り混じった心境にあるのではないのでしょうか。

本学の教育目標は、学則の冒頭に謳われているように「進歩した医学の修得」と「医の倫理に徹した高潔な人格の育成」にあります。この車の両輪をなす2つの課題が、今日から各自の学習の目標と成るのであります。中でも後者は教官との交流を始めとして交友や家庭内、更には広く社会における人間関係の中で、常に自らを省みて高める努力を前提として達成されるものであります。将来医師として分け隔てなく患者さんに接するには、人人の抱く多様な価値観を理解しなければなりません。その為には幅広い教養を身に付ける必要があります。

一方、前者の進歩した医学についてであります。そもそも医学は広範囲の自然科学を基礎にして成り立っている応用分野なのであって、先ずは基礎となる自然科学の知識を正確に固める必要があります。医学の進歩が自然科学の他の分野の発見や技術の進歩と密接に関わり合っている事例は、諸君にも容易に思い浮かべられる事でありましょう。こうして自然科学的側面と人文・社会科学側面との調和のとれた知的構築を基礎にして、初めて正しい医学の履習が可能になるのであります。

単科医科大学である本学は6年制医学部であり、そのカリキュラムには、人類が築いて来た文化を継承発展さ

せ、同時に自らの人間性を高める上で、継続的な努力を惜しまない態度を身に付ける処から始まり、次第に専門的な職能教育に至る課程が、連続した6年間に密度高く盛り込まれています。これを消化し吸収して我が物とするのは諸君自身に他なりません。これからの長い道程を思い、これを乗り切る為の体力の向上にも心がけて、各自の志を全うされん事を祈ります。

我々の生きている時代はまさに20世紀の終りを迎えている訳であります。現代文明がもたらした科学技術の進歩と人類の幸福との間の矛盾に、今や人々は危機をさえ覚えるに至りました。即ち、核エネルギー、大気汚染、農業等々に象徴される問題であります。これに類する矛盾は、医学の世界においても例外ではあり得ないのであります。まして、医学の研究や医療技術の開発は、専ら病の克服や延命・長寿を実現して、人類に幸福をもたらす事を願って押し進められて来ただけに、その成果がたとえ一部分にもせよ、人類に不幸を招く結果をもたらす場合があると言う事になると、問題は極めて深刻であります。現代に生きる我々は、何としてもこれを回避しなければなりません。それには医学の進歩を推進する研究者や、進歩した医学を実際の診療に行使する医師の哲学的、倫理的、社会的認識を従前にも増して高める努力が必要であります。

論語に「学びて思わざれば即ち^く罔し」と言う有名な孔子の言葉がありますが、先哲は既に二千数百年も前に“知識を詰め込むだけでは何が重要なのか判からなくなってしまふ”と警告しています。現代に生きる我々はこれを更に敷衍して「学びて思わざれば即ち危うし」と、危機感にまで拡大しなければならぬのではないのでしょうか。どうか“学習の高さに応じて思索を深めること”これを本学で学ぶ諸君の目標にして欲しいと切に希望します。本学のキャンパスを取り巻く雄大な自然が必ずやこれを支えて呉れる事でしょう。

希望に満ち溢れた諸君の前途を祝福して本日の式辞と致します。



平成2年度旭川医科大学入学式



入学式

平成2年度入学者名簿

氏名	出身校	氏名	出身高
----	-----	----	-----



不亦楽乎

化学教授 内田 倅喜

(第一学年担当)

今度で開学以来3度目の学年担当が回って来て、平成2年度入学学生(18期)の諸君を担当することになりました。担当学年の学生に希望するのは次の2つの事です。

1つは友達を作りなさいという事です。大学での友人とは一生付き合っていくことになるし、医学部の同期生の間の繋りは他学部の同期生よりも一層緊密に見えます。

古い言葉に「有朋遠方、不亦楽乎」というのがあります。勿論、これは論語巻第一の学而第一にある言葉です。「いかにも楽しいことだね」というのは友人と一緒にマージャンをやるから、一緒に酒を飲むから、または一緒にスキーをやるから楽しいというわけではありません。これだけだとその友は所謂悪友ということになります。孔子は同じ道について語り合えるから楽しいと言ったのです。

諸君にとって同じ道とは医学の道である事は勿論です。これだとその友は所謂良友という事でしょう。しかし、現在は孔子の時代とも大きく違っているから、まったく独断と偏見に基づき、前述のマージャンも酒もスキーもその他一切を含めることにします。即ち、良友でも悪友でもとにかく友人と呼べるものを作りなさい。孤立して自分だけの世界に逃避することが最も良くないと私は考えます。また、良友でも悪友でも「来れば相手をしてやるよ」では到底出来るものではありません。自分の考えを率直に述べ、且つ相手の考えを辛抱強く聞くという努力が必要です。必ずしもそこには一致点ばかりではないでしょうが、相違点は相違点として認め合う寛容もまた必要です。今までライバル同士であったかも知れない諸君が百人一緒になったのだから、お互いに相手を知って同期生としての繋りを強くするよう努力しなさい。

もう1つの事は大学へ入ったのだから、自分の一生を懸ける専門を努力して学習することです。「初心不可忘」という古い言葉があります。古い言葉ばかり引用して恐縮です。還暦を迎えた故かなと自分でもおかしくなります。さて、この言葉は世阿弥元清の能の奥義書「花鏡」の奥段にあります。世阿弥は室町將軍足利義満、義持の頃の人で観世能の祖にあたるのでしょうか。論語ほど古い訳ではありません。

彼はこの外にも「風姿花伝」とか「至花道」など花の字のついた能芸術論の本を書いています。そして前記の句を当流の万能一徳の一句と称しております。またこの句には次の3条が続きます。

是非初心不可忘

時々初心不可忘(トキトキ又はジジと読む)

老後初心不可忘

まず、若年の初心を忘れないという事であり、次いで年盛りの頃その時、その時の初心を忘れないという事であり、最後に老後をすらすら初心とし、生涯初心を忘れるなという事のような事です。世阿弥の言う所は勿論芸についてであり、初心とは若年の頃の未熟な芸や、時期ごとの初体験を意味するようです。

岩波の国語辞典によると、初心とは物事の習い始めで未熟な事、および最初に思い立った考え、という2つの意味があります。初めの意味は世阿弥の言う初心と一致するようですが、現在では後の意味によく使われるように思います。世阿弥の頃の若年とは能を始めた頃を意味し、7歳位に当たるでしょうか。国語辞典の後の意味を適用すると、諸君が医者になろう、医学を勉強しようと思ったのは何歳頃でしょう。人それぞれで違いはあるでしょう。なかには医学の学習を思い立った訳ではないが入学したという学生もいるかも知れないということを非常に恐れます。医学の学習は生涯となるでしょう。医師免許状を取得するだけでも最短6年かかります。時に初心を忘れて足踏みしたり、挫折したりする学生を沢山見て来ました。長い学生時代を通じて言えることは、常に初心を忘れず学習を続けることです。なにしろそれは諸君自身が、是も非も、善悪を問わず、思い立った事だから。医学部の専門課程の特徴はすべて必修科目だという事です。それらの履修を完了するためには膨大な量の知識の修得を必要とします。

また、孔子の言葉を引用します。

学而時習之、不亦説乎

後半は「いかにも心嬉しいことだね」という意味のようです。理解が深まるとうれしいというのだから、勉強一嫌なことも強いて勉める一段階から、学習することが面白いという段階に進むことは確かです。何しろ孔子がそう言ったのだから。

諸君は大学生活の中で多くの友人を作り、同じ道を楽しく、そして嬉しく歩んで下さい。私もまた諸君と一緒に「時々初心不可忘」と戒心したいものです。

新入生の皆さんへ

第6学年 村野 恭子

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。みなさんは、これから始まる新しい大学生活に、期待と不安とを胸に抱いていることと思います。きびしい受験勉強を終えてホッとしている方も多いと思いますが、本当の勉強はこれからであると考えて、気持ちを一新して大学での勉強や、多くの本を読んで一般教養を身につけることなどしてほしいと思います。

さて、私はみなさんに6年生としていくつかのアドバイスをしたいと思います。

まず始めに、学生時代は一度しかないものですから、自由な時間の中で大学の勉強に限らず、さまざまな自主的活動を行って下さい。先輩達の多くは学内のクラブ、サークルに参加していますし、学生会や大学祭、医学生ゼミナールなどで活躍している人や、学外の人達と環境問題や原発問題にとりくむ人達もいます。そういった自主的活動には、大学の講義だけでは得られないものがたくさんあります。さまざまな活動や仲間たちとの遊びの中で、いろいろな事を学び、よき友人を得てほしいと思います。

次に、真理を追求する姿勢を確立して行って下さい。医学部の場合覚える事が多すぎて、ついついやみくもに頭につめ込んでしまいたくなる時もあります。しかし、常に「なぜ？」の問題意識を持って欲しいのです。そして自分で考えて、理解し、自分で判断して下さい。「学問をする以上、結論を恐れるな」(マルクス)という言葉があります。学問に志して真理を追求する以上、理論的にどんな結論に達しようとも、既成の支配的価値を否定するような結論が出てこようとも、それを恐れてたじろぐことなく、真実に対して真摯であって欲しいと思います。

三つ目に、広い視野を持っていろいろな人の生活や話に関心を持って下さい。卒業して医師となって患者さんを治療しようとする時、病気を治すだけではなく患者さんの置かれている状況や、それを生み出している社会背景をもみられるようになって欲しいのです。例えば、腰痛の患者さんに対して、腰に負担をかけてはいけないから重い物は持たないようにと言っても、その人が肉体労働者であったらそう簡単にはいきません。患者さんの職業、生活環境等も考慮して生活指導しなければならない事もあるのです。

最後に、健康には十分気をつけて下さい。環境の変化や不規則な生活から病気になったり、家庭を離れたことによる孤独感や勉学への不安感、さまざまなストレスから精神的なバランスを崩してしまったら、希望する事もできなくなってしまいます。

新入生のみなさんが、あらゆる面で悔いのない充実した学生生活を送られるようお願い、歓迎の言葉とします。

新入生歓迎実行委員会にはまる

第2学年 横浜 洋也

ある冬の日の放課後。私は某K君とS君に「新歓の委員長やらねえかあ。」と持ち掛けられました。「名前だけでいいからさー。」私は軽い気持ちで承知しました。ところがどっこい、やる事が沢山あるではないですか！私は前々から「新歓やろうかなー」とは言っていたものの、なんて忙しそうなんでしょう。何故皆が嫌がるようなこんな仕事をしたがるかといえば、この様な機会を通して様々な人々と知り合えるからです。今回は、新入生はもちろん、多くの上級生とも知り合いになることができました。その反面様々な意味で、私に対する風当たりが強くなったのも事実です。

新歓の主な活動として、受験案内・パンフレット作成・合宿がありました。当初新歓は去年の資料に基づいて計画をたてました。大体の流れは同じなのですが、今年は私達2年生が中心になって「直す」と判断したものはほとんどやりました。その1つにパンフレットの製本があります。今まではザラ紙に刷った、今年の下宿パンフのようになっていましたが、あれではインパクトがなく、保存にも適さないということで、S氏の提案により今年のような立派な物となりました。原稿は去年の物を基にして、それぞれを見当しなおして強力にしたつもりです。そうこうしてできあがったパンフを見たときには、胸に込み上げるものがありました。私は思わずH君と抱き合ってしまった。受験案内は、絵も入れることもできるということで電子郵便になりましたが、あんまり電報と変わりなかったようです。テントを立てての案内は、皆レクリエーションの乗りでした。そうでもないと言われてられないということもありました。合宿は、思わぬアクシデントがあったりして、とても皆さんに迷惑をかけたと思います。新入生は元気なもので、吐く奴もいればビール瓶を割る奴もいて大変でした。とはいうものの、私はちゃっかり風呂に入って一年生に混じって眠っていました。以上のような行事に、私は各責任者を決めて仕へを任せ、お目付け役というのをいいことに自動車学校へ通いました。皆から「いつもいない委員長」として恐れられた私は「たまには最後までいてくれよ。」と言われることもしばしばありました。

今年の新歓委員は全部で8名いましたが、それに加えて諸先輩及び多くのヘルパーさんが手伝ってくれました。決して楽ではない仕事を一生懸命やってくれた全員に、心からありがとうと言わせてもらいます。そして彼らの努力が皆の心に残ることを信じてと共に、来年度新歓委員会の更なる躍進を願っています。

最後に、新歓に御協力していただいた皆さんにこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

(新入生歓迎実行委員会 委員長)

こころの健康と管理



保健管理センター 酒 木 保

大学入学試験のために、粉骨碎身の労苦を強いられてきた受験生が、その甲斐あって、めでたく目指す大学に入学し、新入生となる。入学後の約一カ月間は、クラブ勧誘を受けたり、種々のガイダンスに出席したり、あるいは大学生活を維持していくための準備をしたりして、慌だしく終える。一様のことが片付き、ようやく落ち着いてくると五月である。

五月は気候も安定し、春爛漫、一年のうちで自然が最も美しく花やいだ時季である。そして、新入生がこれからゆっくりと本腰をすえて、大学生としての勉学に取り掛かることができるのである。ところが、このすべてが恵まれた時期に至って、なぜか気が滅入ってしまい、徐々に元気がなくなっていき、物事に対する興味や取り組みへの意欲が消失する学生が出現する。

このような、無気力症状を中心とする状態が、俗に「五月病」と呼ばれているものであり、この時季になるとしばしば話題にされるようになる。もともと「五月病」というのは、今から25年程前、日本における大学受験競争の激化に伴って出現してきた。最近では、それが大学生だけに限られず、大学を卒業して職についた、いわゆる新入社員にも起きるようになってきている。更に、小中高校生の登校拒否も、丁度この時期、多発傾向にある。また、五月だけではなく、長い夏休みが明けける九月にも同じようなことが見られるようになってきており、それには「九月病」という言葉が当てられている。いずれにしても、長い休みを明けた直後に発症するのが特徴となっている。

このような「五月病」、あるいは「九月病」に落ち入る者の多くは、小学校の低学年の頃から塾や習い事に通わされて、学力テストや進級テストに追われて、子供同志と一緒に遊ぶことも少なく、更に、他者からの指示によって、用意されたレールの上に乗せられて、忠実に走っていく生活を強いられてきた者だ、と言われている。

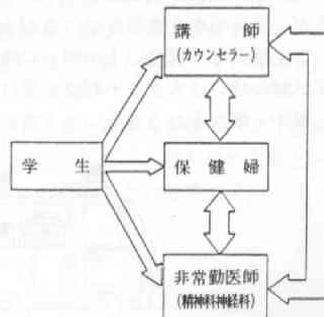
従って、日常生活状況の中にあっては、全く自分の意志で判断していくことができず、物事を決定していく手立てがなかなか持てないようである。ところが、大学に入るとこれまでのように他者が方向を決定してくれるわけではなく、すべて自分が主体的に物事と取り組んでゆかねばならず、いろんなことを自分の意志で決定していかなければならなくなる。そのために、一種の方向喪失感が生じて一時的に混乱を引き起こすのであろう。しかも、これらの混乱の原因を探ってみると、どうやら人

間関係にまつわるところから発生することが多いようである。「五月病」に限らず、心理的な問題発生因の多くが対人関係にまつわるものであるというのは、日本社会の特色であるといえよう。以上の経過から、我々は「五月病」を病気とは見なさず、むしろひとつの適応障害の在り方であると受止めている。従って、本人がいま置かれている環境に馴染む姿勢をとったり、少し根気よくカウンセリングを受けたり、あるいは服薬することで、比較的簡単に症状が消失するのが特徴である。

「五月病」や「九月病」におちいることなく、大学生活を意義あるものとして過ごすには、いかにして主体的な生活をしていくかが大切となる。我々は、乳幼時期から多くの場合は家庭という庇護空間の中で、自己主張することが許され、他者（両親、同胞等）とのささやかな対決の積み重ねによって主体性を獲得してきたものと思われる。現在の文明社会にあっては、何かにつけて文明装置が優勢を占め、ややもすると人間の方が背景に後退せざるを得ないような情勢にある。このような状況のもとでは、当然対人関係も稀薄になり、主体性の獲得がなかなか困難である。そこで、学生が主体性を獲得していくために援助をしていくのが筆者の所属する保健管理センターである。

保健管理センターは、心の問題の早期発見、早期対策を目的に機能している。特に専任の保健婦が、ほぼ全員の学生の面談に応じており、その時点で精神面に問題のある可能性を有する学生には、精神神経科医師の受診あるいはカウンセラーとの面接を勧めている。また、精神神経科医師とカウンセラーとはコンタクトを密にし、それぞれの役割に応じた対応をとっている。「五月病」に限らず、精神面での相談には、一人で悩まずできるだけ早期に来室するのが望ましい。秘密は絶対厳守!!

業務の機構図



国家試験と交通事故

副学長 安孫子 保

新入生諸君、入学おめでとうございます。父兄の方もさぞかし喜んでおられることでしょう。苦しかった受験生活から解放されて、医学の道に入ることが出来たのです。気候も良くなるし、まず運転免許を取ってドライブをしてみたいと考えるのは、無理からぬことです。父兄の方も、安い入学料の国立大学に入ってくれたのだから、中古車の一台ぐらい買ってやっても良いと考えるかも知れません。しかし、交通事故の問題、駐車場の管理運営上の問題などのため、本学では新入生の自動車通学を禁止しています。また、大学の駐車場枠は低学年に対して、特別な事情を除いて殆んど与えられていません。この規則や駐車場枠のことは入学式当日の懇談会で父兄に十分に説明し、くれぐれも車を買ひ与えないようお願いしてあります。

この数年、授業終了後の夜とか休日に運転して事故をおこす例が増加しております。誠に残念なことに昨年は新入生が一名交通事故で亡くなっております。交通事故をおこした学生は罰金や免許の行政処分だけでなく、医師国家試験の受験の際、学長に『申立書』を書いていたかなければ、大きな不利益を受けることになります。人の命を救う立場にある医師の卵が、人を傷つけたり人の命を奪ったりすれば、そのような人には医師免許証を与えないで欲しいという声が出てくるのは当然であり、これは医師法の中に医師の欠格条項として明記されているところです。

しかし学長は無条件に申立書を書く訳ではありません。改換の情がない者、悪質な事故などであれば、書くことは出来ないでしょう。大学の規則を守らず不法駐車を繰り返す者にも書くことはないでしょうから、このおめでたい時に学生諸君に注意しなければならないのです。

本人がいくら注意していても、事故をおこしてしまうことがあります。不幸にして事件・事故をおこした場合は、事故現場から逃げたりしないで事故の発生を早く警察に届け出てください。逃げれば逃げるほど罰が大きくなり、学長は申立書を書くことが出来なくなります。

また、そのことを学年担当の先生にも早く報告してください。この報告は大変重要です。なぜなら、この報告こそが、学長の申立書発行につながる唯一の道だからです。学生諸君で「罰金以上の刑」に処せられた人は医師国家試験の時には大きな不利益を受けますので、とにかく、事件・事故をおこさないよう常に気をつけてください。



平成2年度大学院入学者名簿

氏名	出身大学	専攻
茗荷 秀昭	弘前大学	生体情報調節系
井内 裕満	旭川医科大学	生体情報調節系
中村 哲史	旭川医科大学	生体情報調節系
種市 麻衣子	旭川医科大学	生体情報調節系
森谷 満	旭川医科大学	生体情報調節系
武田 昭範	旭川医科大学	生体情報調節系
紀野 泰久	旭川医科大学	生体情報調節系
丹野 誠志	旭川医科大学	生体情報調節系
徳光 正行	旭川医科大学	生体情報調節系
藤田 雅章	旭川医科大学	生体情報調節系
菊池 計	酪農学園大学	生体情報調節系
宮田 節也	旭川医科大学	生体情報調節系
西森 博幸	旭川医科大学	生体情報調節系
木村 広幸	旭川医科大学	細胞・器官系
奥山 光彦	旭川医科大学	生体情報調節系
府川 悦士	旭川医科大学	生体情報調節系
青島 優	旭川医科大学	生体情報調節系
木ノ内 玲子	旭川医科大学	生体情報調節系
藤本 一弘	旭川医科大学	生体情報調節系
角濱 孝行	旭川医科大学	細胞・器官系
森川 裕子	東北大学	生体情報調節系

平成2年度運営組織

本学には、医学教育についての調査研究、教育課程の編成、修学指導、授業及び試験の実施、単位の修得及び履修、学籍関係等について審議する機関として教務委員会があります。

また、学生の厚生補導に関する調査研究、学生の課外活動、福利厚生等について審議する機関として厚生補導委員会があります。

両委員会の平成元年度委員は次のとおりです。

〈教務委員会〉

委員長	安孫子 保 (副学長)
副委員長	清水 哲也 (図書館長)
委員	岡田 雅勝 山村 晃太郎
	内田 俸喜 水戸 勉郎
	原田 一典 小川 秀道
	東 匡伸 竹光 義治
	小川 勝洋

〈厚生補導委員会〉

委員長	安孫子 保 (副学長)
副委員長	美甘 和哉
委員	谷本 光穂 八竹 直
	田中 剛 米増 祐吉
	森 茂美 北進 一
	石橋 宏 酒木 保
	加地 隆

(学生課)

研究室紹介

■ 生化学第二講座 ■ 鈴木 裕

生化学第二講座は昭和52年に開設され、同年12月金沢教授の就任によって開講された。現在、講座の実働メンバーは、教授・金沢徹、講師・鈴木裕、助手・大宮博士、大保貴嗣、大学院生・久保田達也（内科学第三講座より）、事務・藤田理子である。

本講座では、イオンポンプの作動機構を分子レベルで解明することを目的として、ポンプ作動時にポンプの内部構造のうちどの部分がどのように挙動するかを動的に解析することを中心に研究を進めている。イオンポンプは細胞膜や細胞内膜系に存在していて、細胞が正常な機能を営む上で重要な役割を果たす各種イオンの細胞内濃度を適切に維持する働きをしている。生体膜には様々なイオンポンプが存在するが、本講座の研究対象はATPをエネルギー源とするカチオンポンプである。このカチオンポンプには、細胞膜のナトリウムポンプ（実体は Na^+ 、 K^+ -ATPase）、細胞膜や筋小胞体膜のカルシウムポンプ（ Ca^{2+} -ATPase）、胃粘膜の壁細胞に存在し胃酸分泌を行なうプロトンポンプ（ H^+ 、 K^+ -ATPase）が含まれる。これら三種類のATPaseは、その反応機構が極めてよく似ていて、P-タイプと呼ばれる輸送ATPaseの1グループを構成している。イオン輸送の機構についても、このグループは多くの点で共通していると考えられる。

本講座では、このP-タイプの輸送ATPaseについて、次の三つの面からポンプの作動機構の解明を進めている。その第一は、ポンプの触媒部位が一次構造上のどのようなペプチドドメインから構成されていて、その構造がどのように振舞うことによってイオン輸送に必要なエネルギーをATPから取り出すかを明らかにすることである。第二は、ATPから取り出されたエネルギーがどのようにして触媒部位からポンプのイオン結合部位に運ばれるかを明らかにすることである。第三は、ポンプのイオン結合部位がどのような構造をしているか、またATPから取り出されイオン結合部位に運ばれたエネルギーがイオン結合部位の構造をどのように変えることによってイオン輸送を惹き起こすかを明らかにすることである。これらの問題は、いずれもイオン輸送のメカニズムを解明する上で中心的課題であるが、今日その研究は緒に付いたばかりである。ポンプたんぱく質の全一次構造が分子生物学的手法によって解明されたのはごく最近のことであるが、それによって本講座が現在目指しているような、ポンプ分子の内部構造に深く立ち入った研究が初めて可能となった。イオン輸送の分野で、今我々は魅惑的で実り豊かな研究への新たな出発点に立っていると云える。

（生化学第二講座 講師）

研究室紹介

■ 外科学第二講座 ■ 草野 満夫

毎年のことながら、緑豊かな神楽岡の地に春が訪れると、教室員の移動や新入医局員の参加によって忙しい中にも新たに活気に満ちた気分が医局内にただよってくる。ふり返ってみると教室開設時の昭和50年4月には教授以下教官3、事務官1の5名で出発したが、2期生が入局した昭和55年には教官11、研修医7、大学院2、事務官2、研究助手3の25名となり、現在では総数70名の大所帯に成長した。昭和63年度には念願であった同門会の「刀進会」が発足し、これまでに増して強力な組織ができあがった。診療体制も肝、胆、脾を主とする消化器外科全体の他、外来においては肝、脾、人工肛門、乳腺等の特殊外来を設け、一般外科のほとんどをまかない精力的に日夜診療活動を続けている。しかし、医療の進歩をめざすためには既存の臨床手段のみでは限界があり、常に実験研究によるあらたな診断、治療法の開発や技術の向上に努めなければならない。開設以来、教室で取り組んでいる三大研究テーマは臓器機能の再現と肝・脾の再生メカニズムの解明、それと悪性腫瘍の malignant potential に基づいたあらたな診断・治療体系の確立である。この中には時々新聞、テレビ等で紹介されている肝細胞や脾ラ氏島の移植、人工臓器・ME部門では人工肝の開発、またそれと関連した臓器・細胞の凍結保存の研究、さらに超音波診断、NMR、医用レーザー、ハイパーサーミアなどの先端技術の開発にも積極的に取り組んでいる。そして現在外科領域で話題の中心ともいえる部分肝移植を含めた肝・脾移植の基礎的研究、加えて消化器外科全般にわたる病態生理の解明と悪性腫瘍に対する集学的治療法の開発と年々その研究領域にも広がりを見せてきている。水戸教授がヨーロッパ研究外科学会の日本代表であることや全国学会の理事、評議員を数多く勤めていることなどから海外との交流も多く、国内、国外の関連学会や雑誌にも毎年積極的にその成果を発表している。また留学先もスウェーデンのルンド大学、西ドイツのハノーバー大学をはじめとしてアメリカなどいくつかの研究施設があり、教室員もおおいに張り切って留学の夢をふくらませている。

忙しい中にありながらも、仕事を離れては、酒、スポーツ・・・と遊びの面に対しては特に制限される（する？）こともなく、自由闊達で、仕事や、遊びにとたえまなく活動できることも教室の特徴といえる。仕事を終えてから誘いあって3・6方面へかけることは、翌日からの仕事の活力にもなっており、愉しみのひとつといえる。また、ゴルフでは水戸杯もつくられて、これが励みとなってか年々熱もあがってきている様である。最後に、わが第2外科学教室では、大学の3本柱である診療・研究・教育と取りくみながら、常に夢をもちつづけて、医療の分野でも余暇の面でも何事に対しても全力で頑張ることを教室のモットーにしている。

（第二外科 講師）

平成2年度の主な行事

今年度の主な行事は次のとおりです。

4月6日	入学式	
4月16日～17日	新入生研修(第1回目)	
6月14日～17日	医大祭	
9月5日	体育大会	
9月19日	解剖体慰霊式	
10月29日～30日	新入生研修(第2回目)	}
11月1日～2日		
11月5日	本学記念日	
3月25日	卒業式	(学生課)

第12回卒業証書授与式

第12回卒業生 122名(うち女子21名)への卒業証書授与式が、3月23日(金)10時30分から本学体育館において挙行された。

式では、室内合奏団が奏でる調べのなか、学長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡された。

ついで学長から門出にあたり式辞が述べられた。
(学生課)



学位記授与式

3月23日(金)9時30分から、本学第2会議室において、大学院医学研究科を修了した9名に医学博士の学位が授与された。

9名の氏名・専攻・学位論文題目は次のとおりです。
(学生課)



氏名	専攻	学位論文題目
中村一博	生体情報調節系 化学物質作用学部門	Effect of propranolol on accumulation of NEFA in the ischemic perfused rat heart (ラット虚血灌流心筋における遊離脂肪酸の蓄積におよぼすプロプラノロールの効果)
藤井哲哉	細胞・器官系 発生学部門	ヒトのアリルスルファターゼAの分子構成と磁性変化に関する研究
川島哲也	生体情報調節系 情動科学部門	Selective Inhibition by Lasalocid of Hydrolysis of the ADP-insensitive Phosphoenzyme in the Catalytic Cycle of Sarcoplasmic Reticulum Ca^{2+} -ATPase (筋小胞体 Ca^{2+} -ATPaseの反応過程におけるADP非感受性リン酸化酵素の加水分解の lasalocid による選択的阻害)
久保光司	生体情報調節系 情動科学部門	A Ca^{2+} -dependent Conformational Change of N-Iodoacetyl-N'-(5-sulfo-1-naphthyl) ethylenediamine-labeled Sarcoplasmic Reticulum Ca^{2+} -ATPase upon Substrate Binding to the Catalytic Site A REMARKABLE ACCELERATING EFFECT OF THE ADENINE MOIETY OF THE SUBSTRATE ON THIS CONFORMATIONAL CHANGE (N-Iodoacetyl-N'-(5-sulfo-1-naphthyl) ethylenediamine でラベルした筋小胞体 Ca^{2+} -ATPaseの触媒部位への基質結合による Ca^{2+} 依存性構造変化: この構造変化に対する基質アデニン部分の著明な促進効果)
南 宏明	生体情報調節系 循環呼吸動態学部門	急性右室不全における構造タンパク質の変化 —二次元電気泳動法を用いた検討—
國本雅之	細胞・器官系 腫瘍学部門	両側無名質破壊による辺縁系発作の抑制効果
豊田典明	生体情報調節系 代謝・内分泌学部門	Administration of 8-Methoxypsoralen and Ultraviolet A Irradiation (PUVA) Induces Turnover of Mast Cells in the Skin of Mice (PUVA処置後のマウス皮膚マスト細胞のターンオーバーに関する実験的研究)
久保孝市	生体防御機構系 免疫学部門	IL-4によるHLAクラスII抗原及びCD23抗原の発現増強の解析
土屋由美	生体情報調節系 代謝・内分泌学部門	培養ブタ甲状腺細胞のヨード取り込みおよびDNA合成に対するリチウムの効果について

平成2年度入学式

平成2年度入学式が、4月6日(金)10時から本学体育館において挙行された。

式では、新入生100名(うち女子学生21名)を代表して藍原龍介君が宣誓。ついで、学長式辞があり、新入生は医学生としての自覚を新たに、大学生活の一步を踏み出した。(学生課)



平成2年度新入生研修(第1回目)

平成2年度新入生研修(第1回目)が、4月16日(月)・17日(火)の両日開催された。

第1日目はA組、第2日目はB組を対象に実施された。研修は新入生を12~13名のグループに分け、1グループに一般教育の教官1名と基礎又は臨床の教授1名の計2名があたり、自己紹介について勉学上の問題あるいは学生生活全般について指導助言ならびに懇談が行われた。(学生課)



学生の定期健康診断の実施について

平成2年度の学生の定期健康診断を、下記のとおり実施するので全員受検すること。

なお、定期健康診断を受検しない者は、「健康診断書」を発行できないので注意すること。

記

日時 5月30日(水) 12:30~15:30

(原則として第1、2学年)

スポーツ安全協会傷害保険の加入について

最近、課外活動中の事故が増えており、事故発生の場合に備えて補償対策を立てておくことが必要となっています。

スポーツ安全協会傷害保険は、体育系はもとより文化系団体が、その活動中に生じた事故等によって傷害を被った場合あるいは法律上の賠償責任を負った場合、これを補償するための保険です。

保険の概要は次のとおりです。

○本保険に加入できる団体………スポーツ団体及び文化系団体で5名以上のグループ

○加入区分及び対象となる団体

区 分	対象となる団体
1 種 団 体	A 文化系団体
	C サイクリング等(2種、3種以外のスポーツを行う団体)
2 種 団 体 競技別大学(学生)連盟等に登録または加盟している団体。	A 剣道、卓球、庭球、軟式庭球、水泳、バスケットボール、バレーボール、陸上競技、バドミントン、ゴルフ、弓道、ボクシング等
	B 空手、スキー、ラグビー、サッカー、柔道、ワンダーホーゲル等
3 種 団 体	山岳登山等

○保険料と保険金額・てん補限度額

区 分	保 険 料 (年間)	傷害保険の保険金額			賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
		死亡・後遺障害 保険金額	入院保険金 日 額	通院保険金 日 額		
1種	A 360円	1,400万円	4,000円	1,300円	対人賠償 1億円 (自己負担 1,000円) 対物賠償 500万円 (自己負担 1,000円)	突然死および日射病・熱中病による死亡 50万円
	C 1,100円					
2種	A 1,450円	400万円	1,800円	800円	対人賠償 1億円 (自己負担 1,000円) 対物賠償 500万円 (自己負担 1,000円)	突然死および日射病・熱中病による死亡 50万円
	B 5,750円					
3 種	9,900円	400万円	1,800円	800円	対人賠償 1億円 (自己負担 1,000円) 対物賠償 500万円 (自己負担 1,000円)	突然死および日射病・熱中病による死亡 50万円

注1:中途加入の場合も年間保険料が必要。

注2:中途で団体メンバーが増えた場合には、追加加入が可能。

○保険期間………保険料を振込んだ日の翌日の午前0時から平成3年3月31日午後12時まで。

詳しくは学生課学生係に尋ねること。(学生課)

6月2日(土) 12:30~14:30

(原則として第5、6学年)

6月6日(水) 12:30~15:30

(原則として第3、4学年)

※大学院生については、いずれかの都合のよい日に受検すること。

場 所 保健管理センター

検査項目 胸部X線、身長、体重、視力、検尿、血圧、内科検診

課外活動短信

第31回東日本医科学生総合体育大会（冬季スキー部門）

3/19～3/23 草津スキー場

〈男子〉回 転	5 位	浅岡 克行（6 年）
15km X C	1 位	宍倉 朋胤（5 年）
	3 位	鹿野 恒（4 年）
	10 位	太田原康成（6 年）
8 km X C	2 位	宍倉 朋胤（5 年）
	9 位	鹿野 恒（4 年）
リレー	2 位	宍倉、鹿野、鈴木、太田原
総 合	2 位	

〈女子〉回 転	1 位	山上 和江（6 年）
大回転	2 位	山上 和江（6 年）
5 km X C	3 位	辻 由紀子（3 年）
	5 位	黒木 文子（3 年）
3 km X C	3 位	辻 由紀子（3 年）
総 合	2 位	

マイルドセブンFKスキーグランプリ

6 位 近間 威彦（2 年白い恋人）



コンピュータ雑感

新たなる産業革命のにない手といわれたマイコンは制御部品として今や自動車、家電製品さらには医療機器をはじめとする数多くの機器に組み込まれている。このマイコンを部品としてではなく、汎用のすなわち多目的に使えるコンピュータとして構成したものが、パーソナルコンピュータである。

パソコンはオフィスオートメーションの中核的な機器となり、私達がすぐ目にふれるだけでも市役所や銀行、一般のオフィスの机上に相互にネットワークで結ばれたパソコンが置かれ、日常的に使われている。

1990年代に入った現在ではパソコンの性能は見違えるように向上した。その上、大量生産によって下位機種ならば個人のポケットマネーでも購入できるし、上位機種であっても、それほど高くはなくなった。実際、個人でパソコンを持つ人もかなり増えてきている。

色々なソフトウェアもたくさん出回っている。ちょっと思い浮かべただけでもゲームソフト、ワープロソフト、データベースソフト、表計算ソフト、統計解析用ソフトなどなど。あまりに数多くのソフトがあるのでどれを使ったら良いのか迷うほどである。ただ、市販のソフトはそれぞれ一長一短があり、一つのソフトが自分の思っていることを全てやってくれるというわけにはいかないようである。ワープロ専用のソフト、大量のデータベースを扱ってのデータ管理や検索、集計などが得意なもの、科学・技術計算が得意なものなど。従って自分が何をコンピュータにやらせたいかという目的意識をもって、そ

れが一番合うソフトを選択することになる。同一のオペレーティング・システムを使用するものならば、同じデータ・ファイルを様々なソフトで動かすことができ、このほうが実際的である。

それでもコンピュータの数ある機能の全てを使いこなしている人は少ないように思う。それはそれで充分用を足しているわけであるが、ワープロにしか使わないのにわざわざパソコンを購入している人を見ると、首をかしげてしまう。最近のワープロ専用機は機能も格段に良くなって、表計算やグラフ作成機能まで付いており、簡単な処理ならばこれで充分ではないかと思ってしまう。

ワープロ専用機はパソコンよりもっと一般的になり、いまや一人に一台というところまできている。最近の学生のレポートを見てもワープロ使用が増えてきた。同じワープロを使うにしても二つのタイプの人がいるようである。あらかじめ原稿用紙に文章を書いておいてそれをワープロで清書、あるいはちょっとした修正をするタイプの人。もう一方のタイプは原稿用紙を使わずに、頭で文章を考えてそれを直接キーボードに向かって打ち込んでいく人。人それぞれであるが、あるワープロ作家は次のように述べている。「原稿用紙と万年筆というスタイルより、ワープロのほうがずっと緻密にものを考えることができる。書いては消し、消しては書く。この文章を練りあげていくプロセスは、実は考えるプロセスでしょう。万年筆を手にして原稿用紙に向かって時より、ワープロの方が試行錯誤を目でみながら行える。骨惜しみせずに迷えるんだな」。

もう一つ、ある技術者の話。コンピュータとは何か。それは「インテリジェンス・ミラー……知的な鏡」だと答えている。鏡に映せば自分の姿が映るように、私たちがコンピュータを使うと、使う人の知的能力がそのまま反映する。言いかえれば自分のものにして、はじめて知的能力になるという。少しばかり耳の痛い話である。

あなたはコンピュータを自分のものにしてますか？

（耳鼻咽喉科学講座 助教授）